

就職内定率

8年連続90%以上の
確かな就職実績を達成!

99.6%



1 昨年度の就職状況について

昨年度の就職状況は、地域別では地元の広島県への就職が約62%、広島県を除く中国地方が約14%、それに続いて関東地方が約12%、近畿地方が約6%です。業種別では医療・福祉業が約44%、製造業(事務職、営業職を含む)、卸売・小売業、教育は約9~11%となっています。それに続いて公務、各種サービス業等が約3~4%、金融業へも昨年並みの2.4%が就いています。以上の地域別、業種別実績を踏まえ、大学4年間の学びの在り方の関連を見ると、取得資格やクラブ活動の活性化が、地元をはじめ多くの事業所様から評価をいただいていることがわかります。



2 4年生の就職活動の状況及び本学の取り組みについて

現在、4年生の就職活動も山場を迎えています。その特徴は、昨年以上に採用活動が早期化していることです。本学でも多くの学生が就職課を積極的に訪れています。

学生のニーズは職種選択の相談、面接指導の要望等様々です。学生への対応は就職課の支援に加え、毎週定期的に来学し、学生からの相談に親身に丁寧に当たってくださるキャリアカウンセラーやハローワークから来られるジョブサポーターの方のお力が大変大きいと思います。

本学では、指導体制の充実を図りながら、各学科の就職委員やゼミ担当の教員とも密な連携を図るなど、しっかりとしたサポート体制を組んで、本年度も大学が一丸となり、就職内定率100%の達成をめざして力強く取り組んでいきたいと思っています。



3 就職活動を取り巻く状況の変化

大卒採用の指針(いわゆる、「就活ルール」)は、現在、政府が作ることとなりましたが、就活中の4年生、また、3年生に関しては現行ルールどおりです。つまり、説明会が3年生の3月1日、採用選考が4年生の6月1日の解禁で、正式な内定日は4年生の10月1日以降(9月30日以前の内々定は、学生を拘束しないことになっています)です。しかしながら、特に中小企業等では「採用難」が一層深刻な状況となっており、この指針は形骸化の傾向も見えていました。

このような中、本年5月に「通年採用」の記事が新聞紙上に賑わせました。「通年採用」が拡大していった場合、企業の採用形態も多様になります。ただ、福山市を中心とした備後地方の地場企業では、現実的には企業側の「通年採用」に向けた課題も少なからずあると考えられます。そのため、「新卒一括採用」が当面は主流となるのではないかと予想されます。



4 状況の変化を踏まえた学生の心構えについて

上述のように、就職活動を取り巻く状況は大きく変化しており、目が離せません。

そこで、2年生以下の学生に向けては、学生という限られた時間の中で、「自分のこれからの仕事を含めた人生設計について、自分でよく考えること。自分の価値観を大切に、アルバイトやボランティアなど学外の世界としっかりと接して欲しい。」という助言をしたいと思います。

福山平成大学での様々な体験が血肉となって、初めて自らの人生や仕事に対する考えを確実に成熟させることができるわけです。それが学業への、さらに就活への動機付けにもなります。

一人ひとりの学生の日一日が、より良い人生につながるよう、保証人の皆様と共に、本学の全教職員もしっかりと学生を支援していきたいと思っています。

就職課 課長 能登 正雄



み ゆ き レ タ ー



福山平成大学食堂は、「さくらDining」として リニューアルオープンしました。

今回の食堂のリニューアルは、福山平成大学が平成6年に開学して以来、学内の福利施設の改装としては、大規模なものとなりました。

この改装は、開学以来25年が経過し食堂の老朽化が進んでいること、学生生活アンケートにおいて「食堂をきれいしてほしい」との学生の強い要望があったこと等がきっかけで実現しました。また、学生・教職員は元気でないといけない、そのためにも学内環境の充実を図りたいとの鈴木理事長の意向とも相まって、食堂をリニューアルすることになりました。

具体化させるため、長期ビジョン委員会が中心となって検討がなされ、学生・教職員が食事はもちろんのこと、対話を楽しむ場、食(た)べり場・しゃべり場として、快適に過ごせる居心地の良い空間を実現させること、また、学生・教職員と地域の方々とのコミュニケーションを誘発し、地域に愛される場に発展させることをコンセプトとすることにまとり、改装工事が進めることになりました。具体的な内容は次のとおりです。

①既存建物がもつ魅力を活かした「快適・省エネ・安全」なスペースへ・・・

- ・眺望と快適性を保つため、高効率でバランスの良い空調計画と斜め天井(厨房側;低く、窓側;高く)を採用し、空間に変化が生まれるようにしました。
- ・窓の既存パネル部をガラスに取替えて開放感を確保し、また、窓面にブラインドや半透明フィルムを組み合わせ日射を制御しながら光を取り込めるようにしました。



②解放感あふれる居心地の良い「みんなが、いつも集う場所」へ・・・

- ・大学のロゴマークをモチーフにした床パターンによって、個性あるデザインとし、にぎわいの場を演出しています。
- ・にぎわいや若々しさを表現するため、5つの学科のイメージカラーを食堂内の柱にそれぞれ配色しました。
- ・座席数約400席には、1人席、4人席、多人数席のバリエーションを用意して、利用者の利便性に合せたスペースにしました。



その他にも、手洗い場には、台数を増やし、蛇口に手をかざす自動水洗の仕様として衛生面に配慮しました。また、メニューは見やすく、また、入口に食堂内の目線にも配慮した家具を設置するなど工夫を凝らしています。



▲オープニングセレモニーの様子 ▲テープカットの様子



▲鈴木理事長の挨拶



▲新しくなった食堂で談笑する学生

今回の改装に伴い、食堂のネーミングを公募しました。選定は、学生委員会を中心に進め、福祉健康学部健康スポーツ科学科石田琢真君の「さくらDining」に決定しました。

食堂の改装工事が完了した平成31年3月30日(土)には、オープンセレモニーを盛大に開催しました。

当日は、鈴木省三理事長をはじめ、坪井始学長、川久保和雄副学長、石橋勇学生委員長、石田琢真君、運営会社のトモテツセブンと施工業者の(株)竹中工務店の代表者様にもご出席いただき、テープカットを行いました。御幸太鼓部の力強い演奏もセレモニーに華を添えました。また、春季休業で大学が休みにも関わらず、多くの学生が参加しオープンを祝いました。

終了後、食堂内部を見学した参加者らは、さっそく椅子やカウンター席に座り、「オシャレになった」、「明るい」、「かっこいい」と思い思いに談笑していました。

リニューアルオープンした食堂「さくらDining」がキャンパス内のにぎわいの拠点となり、福山平成大学が、学生・教職員が元気で、大学も元気で、「揺るぎなく前進」することを願います。(学務部)

新入生 合宿オリエンテーション報告 Orientation CAMP

経営学科

1年 増田 蓮



先輩がコミュニケーションをとりやすいよう進行を行ってくれ、とてもやりやすくグループワークを終えられました。

今回だけで、自分のコミュニケーション力が改善されたとは思いませんが、この合宿を機に今後、この力が向上するようにしていきたいです。コミュニケーション力は学内だけでなく、学外でも必要となるので、この4年間を、社会に出るための良きステップとしていけるようにしたいと思います。

僕は、岡山県渋川青年の家での合宿を通じて、他者とのコミュニケーションの必要さと大切さを学びました。

合宿での主な活動は、グループ内で人のことを尋ね、また、自分のことを話して情報交換を行った上で、特定の相手になり切って皆の前で話す「他己紹介」でした。そのため、出身校が違う人達とコミュニケーションをとらなければなりません。僕は昔から、他人とコミュニケーションをとるのが苦手で、正直自己紹介の方がやりやすいと思っていました。しかし、実際にやってみると、グループリーダーや

福祉学科

1年 毛利 理恵子



入学した翌週に行われた一泊二日の合宿オリエンテーションに参加しました。一日目は自己紹介とバレーボールと履修登録をしました。参加する前は「まだ友達もできていないのに二日間もやっていけるかな」という不安が大きかったのですが、自己紹介で、先輩方が新入生一人一人に相槌をうってください、とてもうれしかったのを覚えています。バレーボールでは、声を掛け合いながら和気あいあいとプレイすることができました。履修登録では、先生方・先輩方が親切に教えてくださりとても心強かったです。二日目はケイドロと水族館見学をしました。生きているナマコやウニを触るという貴重な体験ができました。

先輩方が尽力してくださったおかげで、最初に抱いていた不安は消え、二日間はとても楽しく過ごせました。新入生みんなとの絆も深まったため、協力しあって、これからの大学生活を充実したものにしたい、と思った合宿でした。

健康スポーツ科学科

1年 井上 椋太郎



私は新入生オリエンテーションで、福山少年自然の家に行きました。初めは入学して間もないので友達ができるか不安でしたが、アイスブレイクで同じ学科の人と打ち解けあうことができ、皆でご飯やお風呂を通じて仲良くなり、気づかないうちに友達が増えてよかったです。

また、健スポ伝統の集団行動と校歌を行いました。初めはめんどくさいと思いましたが、学生リーダーの一体感と迫力ある手本をみて、自分もこんなに迫力のある集団になりたいと思い、練習に取り組みました。最初は、みんなの動きが合合わなかったり、声が小さく迫力のない集団でしたが、練習を重ねるうちに、動きが合い、声も大きくなりました。本番では、緊張もあり、練習程良い演技はできなかったけど、それまでの過程でみんなと協力することの大切さ、一体感、達成感などを味わうことができました。

私は、この貴重な経験を日々の生活に活かし、精進していきたいと思います。

こども学科

1年 山本 樹



こども学科の新入生合宿オリエンテーションは、4月8、9日にツネイシしまなみビレッジで行われました。これは主に新しい友達との仲を深めること、将来の自分を見据え1年間の履修登録をすることを目的としたものです。参加する前は、うまく打ち解けることができるか、不安と緊張でいっぱいでした。

1日目は自己紹介から始まり、レクリエーションや野外炊事をしました。自己紹介では、学科の人達のまだ知らない一面を知ることができ、とても楽しかったです。レクリエーションでは、大縄跳びや王様ドッチなどをしました。各班対抗で行ったため、一人一人がコミュニケーションをとり、作戦を練るなどして、「勝つぞ!」という気持ちで心をつにつにたことで、団結力が高まりました。野外炊事では、班のみんなと他愛もない話をしながら楽しく活動することで不安もなくなりました。

2日目は履修登録をしました。先生の説明を聞き、先輩のサポートのもと履修登録の重要性や時間割の組み方などを知ることができました。また、困っていたら助け合うなどの優しさも感じることができました。いろいろなることをし、知ることができた2日間だったので忘れられない思い出になりました。

この2日間でたくさんの事を教えていただいた先輩方に感謝しています。また、私たちの事を一番に考えてくださり、後輩をサポートする姿はとてもかっこよく、私たちも後輩をサポートできる先輩になりたいと思いました。この合宿で見た先輩の姿勢を見習い今後役に立ていこうと思います。また、合宿で仲良くなった学科の人たちや先輩とのつながりを大切にしながら、これからの4年間の大学生活を頑張っていこうと思います。

看護学科 1年 半田 悠馬



オリエンテーション合宿では、初日から、色々な人と会話をし、相手を知ることできるようになり、新たな仲間と共に頑張っていこうという気持ちを高めることが出来ました。この合宿は看護師に近づくための第一歩となりました。これから、大学で看護師という職業を目指すうえで、必要な技術・知識に加え、コミュニケーション能力をさらに高めていきたいと考えています。僕は将来、地域医療に携わる看護師を目指しています。福山平成大学はボランティア活動を積極的に行っており、地域の方と積極的にコミュニケーションをとって地域の現状や課題を見つけることができます。これから四年間学んでいく中で、辛い事があっても先生や先輩に相談したりして、看護師になるという気持ちを貫いていきます。これから四年間よろしくお願いします。

健康スポーツ科学科

健康スポーツ科学科初年次教育



健康スポーツ科学科の初年次教である「基礎演習」では、大学生として必要な基礎力を身につけるとともに、協調性やコミュニケーション能力を磨き、そして目標達成に向けた課題発見力を高める一環として、校歌指導、レポート作成・プレゼンテーション指導、ニュースポーツをつくる、スポーツテスト、自然体験などを行っています。

その中の校歌指導は、健康スポーツ科学科の伝統の一つとなりつつあります。校歌指導は、2～4年生の学生リーダー指導のもと、合宿オリエンテーションから取り組んでいきます。はじめは、恥ずかしさもありますが、さすがは健スポの学生らしく、連帯感をもって取り組み、開学記念日に実施される学長杯競争競技大会のセシモニーで、堂々とそして連帯感をもって校歌斉唱をしてくれます。また、レポート作成・プレゼンテーション指導では、与えられた課題に対して、自分の考えをどう主張するか、相手に伝わるようにするためにどうすればいいのか、各ゼミで試行錯誤しながら取り組み、最後は皆の前で発表します。

1年生は今後、授業や部活動など様々な場面で、目標の達成に向けて課題を発見していくこと、そして課題の解決に向けて仲間と積極的にコミュニケーションを図りながら協力し合うことが求められることでしょう。そうした時に「基礎演習」での取り組みを通じて学んだことを活かして欲しいと思います。

助教 石井 智敏

こども学科 ピアノ教育に注力を



保育・教育の現場において欠かせないものの一つにピアノ（オルガン）の演奏があります。こども学科ではこれまでも入学前のピアノセミナーや、四年間を通してピアノレッスンなどをおこなってきました。

保育・教育の現場におけるピアノ演奏はCDの代用で、という方法もありますが、指導者が弾く生音の方が子どもたちにとってより良い影響を及ぼすことはもちろんのことです。

こども学科では、来年度以降この「ピアノレッスン」により力を注いでいこうと計画しています。ピアノレッスンは現在伊藤憲孝准教授と3人の非常勤の先生が指導していますが、クラス分けの方法を来年度から習熟度別に変更する予定です。

「ピアノは全くの初心者なのですが、大丈夫でしょうか。」という質問はよく尋ねられる質問ですが、逆に「幼稚園の頃から続けていたピアノをもっと伸ばしたい。」という気持ちを持ちながら入学してくる学生もいます。例えば、今春福山市立のこども園に採用された柏野綾香さんは後者のタイプで、在学中全国コンクールに二度入賞しています。

このように幅広い願いに応え、豊かな感性を育み、学科の特色を打ち出していくためにも、習熟度別ピアノ教育を導入して、個性的な教育を図っていきたいと考えています。

福山平成大学は緑の多いキャンパスであり、感性の教育に適した環境でもあります。今年度も実施予定の「芝生と聴く音楽」と「物語り」のタペや、「クリスマス・コンサート」など、定例の2本のコンサートに加え、今年はプラスバンド部とも連携するなどして、音楽のあるキャンパスを創出していきたいと考えています。

教授 三藤 恭弘

Topics 学科トピックス

福祉学科

韓国社会福祉施設視察研修



福祉学科では、日本の社会福祉制度や支援の実践についてより一層効果的に学ぶために、海外の福祉施設への視察研修を実施しています。今回は、2019年3月25日（月）～28日（木）まで、学生9人と韓国を訪れました。初日は、「腹が減っては戦ができません」と、まずは腹ごしらえです。食文化体験と言の意味もあり、韓国の代表的な焼肉料理であるサムギョプサルを食べ、その後、書道や骨董品等、韓国の伝統文化の香り高いアートの町、仁寺洞（インサドン）を散策しました。二日目は、日本の特別養護老人ホームに値するドンミョン老人福祉センターにお邪魔し、日本の介護保険制度との異同や韓国の社会福祉士資格制度について学びました。三日目は、ジュンタツ・総合社会福祉館、公共シルバー福祉館、地域児童センター、敬老堂、障害者総合福祉館、城南市多文化家族支援センターを見学しました。各施設の担当者から説明を聞いた後、学生たちは興味津々な様子で日本との違いなどを中心に積極的に質問していました。また、地域の高齢者に提供される食事を地元の方々と一緒に頂きました。今回の研修を通じて韓国の社会福祉制度や政策について理解を深めることができ、学生の視野を広げ、グローバルな考え方を持った学生の育成にもつながると思います。また、これを実践について関心を持って頂ければと思います。

講師 崔 銀珠



経営学科

BINGO OPENインターンシップ



今後、各学生の希望調査をもとに受け入れ先の事業者が決定され、学生は夏休み期間中を利用して、インターンシップを経験することになります。インターンシップとはいえ、実際に事業者の職場へと出向き、従業員の方々と接することのできる経験は、学生には貴重なものとなるはずです。実りあるよう、皆様におかれましても、どうぞ温かく見守っていただきますよう、よろしくお願い致します。

講師 渡邊 正樹

経営学科3年生を中心とした本学37名の学生が、「2019年度BINGO OPEN インターンシップ合同企業説明会」に参加しました。これは備後地域4大学（福山大学、福山平成大学、福山市立大学、尾道市立大学）の学生と、同地域を中心に活躍中の事業者とを、インターンシップを通して結ぶマッチングの場で、去る令和元年5月24日、福山大学にて開催されました。

看護の魅力を届ける 一日看護大学生体験プログラム

看護学科



昨年度より、県内外の高校生を対象に、看護することや人の命についての理解と関心を深める機会を提供するため「一日看護大学生体験プログラム」を企画しています。第2回目となる今年度も5月に開催されました。企画内容の一つとして、看護師、保健師として現場で活躍している本学の卒業生を招いて、仕事の内容を分かりやすく講演して頂くことで、目指していく将来像を知る機会としました。そのほかに、在学生と同じナースユニフォームに着替え、4年次生や教員と交流を図りながら看護大学生が学んでいるフィジカルアセスメント、患者装具の着用、健康チェックなどの技術体験や患者体験ができる演習の時間を設けました。はじめは緊張の面持ちであった高校生もすぐに溶け込み、興味をもって積極的に取り組まれている姿が印象的でした。また、4年次生は看護の魅力が伝えるという経験を通じて、人々の健康な生活の実現に貢献する看護のあり方について理解を深める好機になり得たようです。

准教授 内田 史江

テーマ

「福山城築城から400年、現在そして未来を考える」

地域の歴史は、未来への選択肢の軌跡です。

様々な分野の歴史を紐解くことで見えてくる真実や未来について、そのヒントを探ります。

- 日時

全5回(9月12日、19日、26日、10月3日、10日)

18:30 ~ 20:00

会場

福山平成大学 7号館大講義室
- 受講対象者及び定員

一般市民 250名

受講料

無料

第1回 9月12日 「未来に伝えたい 我が国の福祉思想」

福祉学科 中嶋 裕子 准教授

「共生社会の実現」がさまざまな場面で謳われています。しかし、これは新たな動きというわけではありません。私たちは古来より「共にある」と、共に生きることを重んじ、生きとし生けるものへの限りない愛と畏敬の念を育んできました。この度は「共生」という視点に立って未来に引き継ぎたい思想を歴史から学びたいと思います。日本の神話(古事記・日本書紀)に登場する神様、一寸法師やこぶとり爺さんなどの説話、七福神や福助さんを障がいを持つという視点から解釈し、お話しします。また、福山の各地に残る福祉建造物(砂留、義倉)や郷土の偉人についても言及し、皆様と共にしあわせに生きられる社会の実現について考えたいと思います。

第2回 9月19日 「我が国の体育/スポーツの歴史と文化」

健康スポーツ科学科 松田 広 准教授

18世紀中頃(明治初期)から19世紀末までの近代から現代における、体育・スポーツがどのように転換してきたのかの動向を示し、スポーツ教育の視点から、「技術・戦術・ルールの歴史の変容」「スポーツと政治/経済」「現代スポーツの課題から(スポーツ倫理/スポーツとジェンダー)」などをご紹介します。また、福山市における明治中期からの「学校体育の展開(運動会/体育大会の成り立ち)」、さらに、福山市からの「極東選手権競技大会」「オリンピック競技大会」の出場選手や活躍についてもご紹介したいと思います。

第3回 9月26日 「英語教育の変革期」

こども学科 田辺 尚子 教授

グローバル化の加速に伴い、日本でもいよいよ2020年度から小学校3年生からの英語教育が必修化されます。「日本人は英語が苦手」という声をよく耳にします。また、「英語を少しは読めるけれど、話せない」と言う人もたくさんいます。私たち日本人が英語に対して自信をもてるようになるためには、どのような英語教育もしくは英語学習が効果的なのでしょうか。さらに、「なぜ日本人は英語が苦手なのか」という視点から考えてみると、英語教育だけの問題ではないことがわかります。日本の英語教育の変革期にあたって、本講座をきっかけに、みなさん自身の英語との付き合い方を再考してみませんか。そして、福山出身の偉大な英文学者、随筆家である福原麟太郎先生(福山市名誉市民)についても、郷土の誇りとしてご紹介したいと思います。

第4回 10月3日 「広島看護 今と昔」

看護学科 才野原 照子 教授

1945年8月6日広島に原爆が投下され、爆心地から1.5kmの広島陸軍赤十字病院で被ばくし、そのまま10日間医療活動に従事したナースがいます。彼女が書き残した手記を最初にみんなで読みます。看護の歴史を語る時、その横には常に、疾病や災害、戦争や貧困などがありました。時代に翻弄されながらも生命を賭して健康と命を守った先人たちがいました。焼土から立ち上がった広島市のナースが中心となって職能団体を創設します。GHQの支援もあり看護の基盤が築かれます。社会の変化と医療の進歩発展を受け看護は今日多様な発展を遂げました。福山に看護系大学ができて10年、地域に根差した活動が進んでいます。今回、歴史の振り返りから近未来へのヒントを得たいと思います。

第5回 10月10日 「経営学における「人」の重要性」

経営学科 江口 圭一 教授

戦国時代の武将である武田信玄が残したとされる有名な言葉に、「人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 仇は敵なり」というものがあります。たとえ立派な城があっても、それを支える人の力がないと上手に使いこなせないし、信頼できる人の集まりは石垣や堀にも勝る力を持つと考えていたようです。経営学においても、「人(ヒト)」は「モノ」「カネ」「情報」とともに重要な経営資源とされています。しかし、経営学において「人(ヒト)」の重要性が目立つようになったのは比較的近頃のことです。一方、世界で初めての「会社」といわれる組織が正式に設立されたのは、福山城が築城された頃、つまり、ちょうど400年ほど前の話になります。これが、欧州諸国によって相次いで設立された東インド会社です。この講座では、経営学の歴史を振り返りながら、経営学において「人(ヒト)」が「会社」の中で、どのように捉えられてきたのかを考えていきます。

令和元年 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金、科学研究費補助金)採択一覧

所 属	職 名	氏 名	研 究 種 目	研 究 内 容	研 究 期 間	交付金額
経 営	教 授	小玉 一樹	基盤研究(C)	雇用形態の多様化が集団及び組織に及ぼす影響に関する研究	2017年～2019年	120万円
経 営	教 授	市瀬 信子	基盤研究(C)	清朝康乾年間における杭州詩人集団の詩会活動と地方文献編纂に関する研究	2017年～2019年	320万円
経 営	准教授	堀越 昌和	若手研究	自然災害からの中小企業の復興プロセスと事業承継計画に関する研究	2019年～2021年	234万円
福祉健康	教 授	松井 順子	基盤研究(C)	配食サービスの有効性を高める配達員の教育育成と事業の可能性拡大に関する実験的研究	2017年～2019年	429万円
福祉健康	教 授	岡部 真智子	基盤研究(C)	地域包括ケアシステム下における高齢者向け居住支援の方策	2017年～2019年	260万円
福祉健康	准教授	杉本 浩章	基盤研究(C)	地域包括ケア時代の看取りと専門職間協働	2017年～2021年	340万円
福祉健康	教 授	山崎 洋子	基盤研究(C)	イギリス新教育における「女子・女性教育論」とジェンダーに関する思想史的研究	2017年～2019年	260万円
福祉健康	講 師	田中 紀子	若手研究(B)	インクルーзив授業におけるカリキュラム・デザイン方法の開発的研究	2017年～2019年	260万円
看 護	准教授	岡 和子	基盤研究(C)	高等学校(看護)教育実習における学生の自己評価表の開発に向けて	2019年～2021年	91万円

■ 令和元年度マナー向上キャンペーン実施について ■

令和元年5月21日～5月24日に、学生、教職員のキャンパスマナーの向上を図り、キャンパス環境を快適なものにすることを目的として、学友会、学科選抜学生、サークル、教員、職員が協力してキャンペーンを実施しました。5月20日は学友会長からキャンペーンの趣旨や作業内容等の説明があり、21日～23日は学内美化活動を実施して、マナー向上キャンペーンポケットティッシュと駐輪指導チラシを登校する学生らに配付して、マナー向上の啓発に努めました。最終日の24日は、作業の開始前に学生委員長からキャンペーン協力のお礼と熱中症に注意するように忠告を受け大学周辺の歩道を清掃しました。5日間にわたるこのキャンペーンには、各学科学生、サークル、教職員合わせて323人の参加がありました。

活動前に学生委員長からの挨拶



1・2号館付近でのキャンペーン活動



学外商業施設付近でのキャンペーン・美化活動



学内でのキャンペーン・美化活動



2019年度 保証人懇談会の開催

福山平成大学では、保証人の皆さまと大学との連携を深め、学修、学生生活及び就職支援の充実を図ることを目的として、「保証人懇談会」を毎年8月下旬～9月上旬に開催しております。

この「保証人懇談会」では、午前中に大学の近況の報告と学生生活、就職等の全般的な説明を行い、午後からは、ご子供の成績票をもとに本学教員との個別懇談を行います。

保証人の皆さまには、ご出席下さいますようお願いいたします。また、この機会が、出席いただいた保証人相互の交流の場にもなれば幸いです。

保証人懇談会開催日程

対象：全学部

	開催日	開催地	会場
地方会場	8月25日(日)	広島	広島ガーデンパレス
		松江	サンラボーむらくも
		松山	ネストホテル松山
		福岡	福岡ガーデンパレス
本学会場	9月 7日(土)	福山	福山平成大学
	9月 8日(日)		



福山平成大学 学長杯争奪競技大会報告

令和元年5月15日は、福山平成大学の開学記念日で、この日は、全学休講となるため、毎年、学長杯争奪競技大会が開催されています。今年も、ソフトボールと、ソフトバレーボールの競技が行われました。ソフトボールに9チーム、ソフトバレーボールに11チームのエントリーがあり、天候にも恵まれ、暑い中、熱のこもった戦いが繰り広げられました。(大会参加者・運営学生・教職員で総数約300人)

競技の結果

ソフトボール



優勝 健康スポーツ科学科 B

準優勝 経営学科 B

ソフトバレーボール



優勝 健康スポーツ科学科 B

準優勝 こども学科 B



令和元年(2019年)サークル活動

2019/6/10現在

男子バレーボール部

第89回中国大学バレーボールリーグ戦大会

4/20～5/12 福山平成大学 他

1部2位(9勝1敗) 個人賞 敢闘賞 福元 浩太郎(健スポ3)
スパイク賞 三好 佳介 (健スポ3)
ブロック賞 西本 圭吾 (健スポ3)

第68回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会

5/1～6 丸善インテックアリーナ(大阪市中央体育館)

グループ戦敗退(1勝2敗)

第63回中国四国学生バレーボール選手権大会

5/24～27 岡山大学

準優勝

女子バレーボール部

第89回中国大学バレーボールリーグ戦大会

4/20～21 福山平成大学

2部 優勝

第89回中国大学バレーボールリーグ戦大会入れ替え戦

5/18 広島大学東広島キャンパス北体育館

1部昇格決定

第63回中国四国学生バレーボール選手権大会

5/24～27 岡山大学 他

決勝トーナメント2回戦敗退

陸上競技部

第73回中国四国学生陸上競技対校選手権大会

5/17～19 岡山県総合グラウンド陸上競技場

男子 200m 準決勝敗退 大崎 侔士朗(健スポ3)
800m 準決勝敗退 古森 大貴(健スポ3)
女子 800m 決勝 8位 林 沙知(健スポ3)
1000mW 決勝 5位 池田 未央(健スポ3)

第40回中国四国私立大学対校選手権大会

6/2 倉敷運動公園陸上競技場

男子 100m 6位 古森 大貴(健スポ3)
200m 7位 古森 大貴(健スポ3)
400m 7位 貫井 大聖(健スポ3)
800m 3位 大崎 侔士朗(健スポ3)
6位 久保 大地(健スポ3)
1500m 7位 若松 遼太郎(健スポ1)
三段跳 3位 野口 尚樹(健スポ4)
総合の部 6位 福山平成大学
トラックの部 7位 福山平成大学
女子 800m 優勝 林 沙知(健スポ3)
400mH 5位 菊本 佳那(こども2)
総合の部 5位 福山平成大学
トラックの部 5位 福山平成大学

ソフトテニス部

第41回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会

第63回中国学生ソフトテニス優勝大会

第21回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会

4/26～30 キリンビバレッジ周南庭球場

男子団体 優勝 ※第39回全日本大学ソフトテニス王座決定戦
女子団体 優勝 (6/7～9北海道たえーる)出場決定

男子ダブルス 優勝 與那嶺 晃大(健スポ2)・小川 友貴(健スポ4)ペア
2位 山田 泰誠(健スポ4)・津田 大生(健スポ4)ペア
3位 松本 圭吾(健スポ3)・金原 大智(健スポ2)ペア
山田 喜大(こども4)・樽村 拓哉(健スポ2)ペア
女子ダブルス 優勝 柴原 香琳(こども2)・横田 亜希(健スポ3)ペア
2位 花房 真由(健スポ3)・雪野 美幸(健スポ4)ペア
3位 田中 望希(健スポ3)・小林 碧衣(健スポ4)ペア
中村 菜摘(健スポ4)・細川 蒔緒(健スポ2)ペア
男子シングルス 3位 松本 遥(こども2)
女子シングルス 優勝 柴原 香琳(こども2)
2位 花房 真由(健スポ3)

剣道部

第64回西日本学生剣道大会

第34回西日本女子学生剣道大会

5/25～26 久留米アリーナ

男子 一回戦敗退 女子 一回戦敗退

軟式野球部

2019年度第24回中国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦

3/18～6/9 かさおか古代の丘スポーツ公園野球場 他

優勝(10回目) ※第42回全日本大学軟式野球選手権大会(8/18～長野県)出場決定
(2年ぶり10回目)

水泳部

2019年度日本室内選手権飛込競技大会(翼ジャパンダイビングカップ)

4/19～21 東京辰巳国際水泳場

男子高飛込 決勝 6位 吉澤 有馬(健スポ2)
3mシンクロ飛込 決勝 3位 吉澤 有馬(健スポ2)・檀野 脩人(健スポ2)ペア
シンクロ高飛込 決勝 3位 吉澤 有馬(健スポ2)・新良 貴優(福井DC)ペア
女子3m飛込 決勝 6位 藤原 蒼(健スポ2)
1m飛込 決勝 4位 藤原 蒼(健スポ2)

第23回広島県学生選手権水泳競技大会

5/12 広島修道大学フォーラムプール

男子100m自由形 19位 梅野 史章(健スポ4)
女子50m自由形 5位 大塚 汐莉(健スポ2)
6位 掛谷 優香(看護3)
400m自由形 3位 國川 千尋(こども1)
50m背泳ぎ 優勝 木村 美月(健スポ3)
2位 掛谷 優香(看護3)
50mバタフライ 2位 國川 千尋(こども1)
100mバタフライ 2位 大塚 汐莉(健スポ2)
200m個人メドレー 2位 木村 美月(健スポ3)
200mフリーリレー 2位 大塚 汐莉(健スポ2)・木村 美月(健スポ3)
掛谷 優香(看護3)・國川 千尋(こども1)
400mメドレーリレー 2位 大塚 汐莉(健スポ2)・木村 美月(健スポ3)
掛谷 優香(看護3)・國川 千尋(こども1)

第20回岡山県学生水泳選手権大会

6/2 児島地区公園水泳場

男子50m自由形 38位 梅野 史章(健スポ4)
100m自由形 16位 梅野 史章(健スポ4)
200m個人メドレー 優勝 谷山 葵伊(健スポ1)
3位 石原 大成(看護2)
400mフリーリレー 8位 重信 功(経営1)・石原 大成(看護2)
谷山 葵伊(健スポ1)・梅野 史章(健スポ4)
400mフリーリレー 優勝 池田 和輝(健スポ3)・重信 功(経営1)
石原 大成(看護2)・谷山 葵伊(健スポ1)

第54回中四国学生水泳選手権大会

6/8～9 香川県立総合水泳プール

男子200m個人メドレー A-決勝 6位 谷山 葵伊(健スポ1)
女子200m自由形 決勝 8位 木村 美月(健スポ3)
200m個人メドレー 決勝 9位 木村 美月(健スポ3)

御幸太鼓部

白ゆり祭り(福祉祭り)

5/25 白ゆり経営本部駐車場

ステージにて和太鼓の演奏

第28回服部ほたる祭り

6/1 服部小学校体育館

体育館ステージにて和太鼓の演奏

茶道部

浅野氏広島城入城400年記念事業

和風堂特別公開「吉川広家・上田宗箇 豊臣大名の茶の世界展」

4/1～2 上田流和風堂

2日間会場スタッフとして参加

学友会執行部

夏季献血活動

6/10 福山平成大学プラザ

献血受付者数 55名

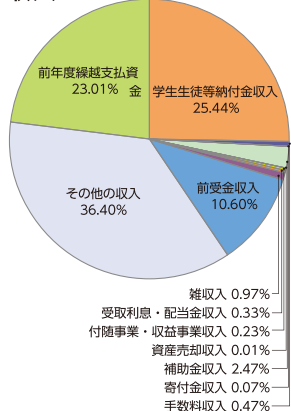


平成30年度 学校法人福山大学財務状況

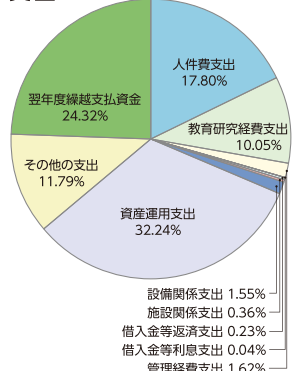
資金収支計算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日) (単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,934,632,800	人件費支出	3,708,618,119
手数料収入	109,952,808	教育研究経費支出	2,094,862,214
寄付金収入	14,943,710	管理経費支出	337,021,181
補助金収入	576,569,924	借入金等利息支出	8,391,545
資産売却収入	1,832,452	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	53,543,568	施設関係支出	74,428,705
受取利息・配当金収入	77,905,481	設備関係支出	323,434,117
雑収入	226,008,770	資産運用支出	6,716,780,258
借入金等収入	0	その他の支出	2,456,974,792
前受金収入	2,472,720,994	資金支出調整勘定	△ 101,775,593
その他の収入	8,491,200,684		
資金収入調整勘定	△ 2,594,004,461		
前年度繰越支払資金	5,368,930,001	翌年度繰越支払資金	5,067,741,393
収入の部合計	20,734,236,731	支出の部合計	20,734,236,731

収入



支出



資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明

収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料や各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したものの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目

支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
設備関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

事業活動収支計算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日) (単位：円)

科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,934,632,800
手数料	109,952,808
寄付金	14,943,710
経常費等補助金	566,807,924
付随事業収入	53,543,568
雑収入	226,008,770
教育活動収入計	6,905,889,580
事業活動支出の部	
人件費	3,724,664,019
教育研究経費	3,009,970,329
管理経費	394,170,499
徴収不能額等	0
教育活動支出計	7,128,804,847
教育活動収支差額	△ 222,915,267
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	77,929,567
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	77,929,567
事業活動支出の部	
借入金等利息	8,391,545
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	8,391,545
教育活動外収支差額	69,538,022
経常収支差額	△ 153,377,245
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	1,064,470
その他の特別収入	51,516,456
特別収入計	52,580,926
事業活動支出の部	
資産処分差額	185,385
その他の特別支出	0
特別支出計	185,385
特別収支差額	52,395,541
基本金組入前当年度収支差額	△ 100,981,704
基本金組入額合計	△ 81,000,000
当年度収支差額	△ 181,981,704
前年度繰越収支差額	6,701,833,843
基本金取崩額	223,306,013
翌年度繰越収支差額	6,743,158,152
(参考)	
事業活動収入計	7,036,400,073
事業活動支出計	7,137,381,777

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動(教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動)に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

科目の説明

事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料	入学検定料や各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額 (施設設備に係る寄付金は除く)
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入 (施設設備に係る補助金は除く)
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入
事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給与引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を除却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出
その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

令和2年度 入学試験日程

AO入試

試 験 種 別	試 験 日	学 部	出 願 期 間	合 格 発 表	手 続 締 切
I 期	9月28日(土)	経営 福祉健康	9月21日(土)～ 9月25日(水) 必 着	10月 4日(金)	10月11日(金)
II 期	12月14日(土)		12月 2日(月)～12月10日(火) 必 着	12月19日(木)	12月27日(金)
III 期	3月 6日(金)		3月 2日(月)～ 3月 4日(水) 必 着	3月12日(木)	3月25日(水)
●エントリーシートの提出	I 期 8月 1日(木)～9月 2日(月)		II 期 10月 8日(火)～11月11日(月)	III 期 1月 6日(月)～2月 8日(土)	
●面談結果通知	I 期 9月13日(金)		II 期 11月28日(木)	III 期 2月25日(火)	

一般選抜試験

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
推薦入試 A 日程	11月 7日(木)・8日(金)	全学部	10月17日(木)～11月 1日(金) 必着	11月13日(水)	11月22日(金)
推薦入試 B 日程	12月 7日(土)	全学部	11月22日(金)～12月 3日(火) 消印有効	12月11日(水)	12月19日(木)
前期入試 A 日程	1月31日(金)・2月1日(土) 2月 2日(日)・2月3日(月)	全学部	1月 6日(月)～ 1月25日(土) 消印有効	2月 8日(土)	2月17日(月)
前期入試 B 日程	2月19日(水)	全学部	2月 5日(水)～ 2月14日(金) 消印有効	2月22日(土)	3月 3日(火)
後期入試	3月 7日(土)	全学部	2月25日(火)～ 3月 3日(火) 消印有効	3月11日(水)	3月25日(水)
センター利用入試(前期)	個別学力試験は課さない	全学部	1月 6日(月)～ 1月25日(土) 消印有効	2月 8日(土)	2月17日(月)
センター利用入試(後期)	個別学力試験は課さない	全学部	2月25日(火)～ 3月 3日(火) 必着	3月11日(水)	3月25日(水)

※備考: 令和2年度 大学入試センター試験日程 1/18(土)・1/19(日)

ご逝去 清水厚實総長 平成31年4月30日永眠 享年88歳



今日の学校法人福山大学の発展に多大なるご貢献を頂いた学校法人福山大学 故清水厚實総長が平成31年4月30日に88歳でご逝去になられ、令和元年6月1日(土)学校法人福山大学宮地茂記念館9階ホールで、お別れの会が執り行われました。

お別れの会には、産業界をはじめ教育関係者の方々、本法人役員並びに福山大学、福山平成大学の教職員を含め380名が献花し、お別れを惜しまれました。

お別れの会場には、清水総長の遺影が掲げられ、理事長就任以来、学校法人福山大学の発展のため、今日まで、ご貢献いただいた数々の思い出を清水総長の肉声とともに在りし日の姿が映し出され、これまでの多大なご貢献に対し改めて感謝するとともに、ご冥福をお祈りいたしました。

清水総長に於かれましては、1975年(昭和50年)1月の学校法人福山大学設立以前から設立に関与され、以来、法人監事、評議員、理事、副理事長を経て、平成23年6月から理事長、平成30年5月から総長として44年の永きにわたり学校法人福山大学、福山大学、福山平成大学の発展に多大なご貢献をいただきました。

つきましては、多大なご貢献をいただいた故清水総長に対し、学校法人福山大学名誉理事長の称号が令和元年5月23日付で授与されました。「どの子もそだつ育て方ひとつで」を信条として生涯を貫かれた清水厚實総長のご冥福をお祈りいたします。

Open Campus

オープンキャンパス

本学では、高校生や保護者の方に、学内の施設見学や模擬講義、実習・演習を体験してもらうために、見学会および体験入学会を実施しています。「見学会」では、全天候型陸上競技場や人工芝サッカー場を始め、34種47台のマシンを設置してあるトレーニングルーム、2棟ある体育館、最新設備の整った看護学部棟、子どもの気持ちになって学べる多様な模擬教室があるこども学科棟などの施設見学を主に行います。また、「体験入学会」では全体会で入試日程や入試方法の説明が行われた後、各学科に分かれて模擬授業ならびに模擬実習・演習を行います。各学科での模擬実習・演習では、本学学生も参加し、高校生にも分かり易いよう、親切丁寧に指導していきます。なお、オープンキャンパスは、下記の日程で実施されております。

見学会

第2回 8月31日(土)

第3回 3月14日(土)

体験入学会

第2回 8月17日(土)



編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学

発行日 2019年7月31日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>